

## 式辞

日を連うごとに暖かさが増し、中庭の木々も少しづつ芽を出し、春を待ちわびる季節となりました。この佳き日に、大阪府立牧野高等学校第48回卒業証書授与式を挙げていただきますことは、本校教職員にとって大きな喜びです。

～中略～

保護者の皆様には、本日、ご卒業の日を無事にお迎えになられ、感慨もひとしおと存じます。

ご入学以来、この3年間のご支援、ご協力を賜りましたことに、感謝申し上げますとともに、お子さまの栄えあるご卒業を心よりお慶び申し上げます。

さて、第48期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ただいま273名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。皆さんにとって、この卒業証書の重みはいかほどでしょうか。

今年度は、本校にとっても創立50年という節目の年となりました。例えば、1期生450名がこの校舎を学び舎として歩み始めてから、14,630名が社会へ旅立ちました。皆さんも新たに仲間入りを果たします。また、7月には50周年記念式典の中で、パナソニックの礎を築いた松下幸之助氏の「立派な歴史伝統を持つ会社でも人を得なければ徐々に衰微する。歴史、伝統を生かすのも人である。」という言葉を紹介しました。

生成AIの登場により、現代社会はデジタル時代へと舵が切られました。ここでいう、「人」とは、まさに新しい時代を切り拓くことのできる人材ではないでしょうか？社会のあらゆる場にデジタル技術が実装される時代です。だからこそ、皆さんには、人としての良さを、これからのデジタル社会で、存分に発揮して欲しいと思います。そのために、次のことをお伝えします。

1つめに、「デジタルは、0か1で判断され処理されるものです。だからこそ、人の良さである、他者を思いやる暖かい心を持ち続けて欲しい」ということです。数字で全てが測れるようになるかもしれませんが、人の心は数字に置き換えることなどできません。常に相手の姿や様子を見て、判断して、寄り添いながら共に生きることが出来る人でいてください。

2つめに「急速に変化する時代の中で、適切に課題を判断し、新しいものを創造できる人であって欲しい」ということです。課題解決を図るには、多くのデータ処理や、過去の経験が活かされる場合があります。それ以上に、過去の慣例に捉われない発想による創造力が、今の時代には必要だと感じるからです。是非、豊かな創造力を培ってください。

3つめに「さまざまな情報が氾濫する中、情報の正しさを見極め、的確に判断できる人であって欲しい」ということです。生成AIの登場により、フェイクニュースが流れる時代です。時として、嘘も真実になりえる時代です。そして、その嘘や匿名性により、他者が傷つけられています。決して許されない行為があるのも事実です。だからこそ、皆さんにはネット上の事象を正しく判断していく力を身につけて欲しいのです。

この3つとも、決して難しいことではありません。人として、大切なことを身につけ、人間性ある社会人として、これからも活躍してください。

話は変わりますが、2月6日よりミラノ・コルティナでオリンピックが開催され、また、3月6日からはパラリンピックが開催されます。多くのスポーツ選手が活躍していますが、皆さんはオリンピック憲章をご存じですか？夏季オリンピックは、1896年、ギリシャのアテネで、冬季オリンピックは1924年にフランスのシャモニーで始まりました。近代オリンピックの父と呼ばれているピエール・ド・クーベルタン男爵により開催され、そこではオリンピズム、いわゆる理念と使命として、その目的は「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てること」とされました。皆さんには、「参加することには意義がある」という言葉で記憶されているのではないのでしょうか？クーベルタン男爵は、この言葉に加え「人生で重要なのは、成功することではなくて努力することである。大切なことは勝ったことではなくて、よく戦ったということです」という言葉も添えています。人それぞれで解釈は異なりますが何事にも我慢強く挑戦し続け、その成果を確かめるために、行動することが重要になります。人生をマラソンに例える人もいますが、エリートにしろ、アマチュアにしろ、スタートラインに立つために何をしてきたか、または何をしているか、ということが問われるのではないのでしょうか。是非、胸を張って新たな社会に向けてのスタートラインに立つための挑戦を継続してください。

結びに、保護者の皆さまに改めて御礼申し上げます。3年間、至らなかつたことも多々あったかと存じますが、最後まで大切なお子さまを本校にお預け頂き感謝申し上げます。お子さまは、高い志を持って高校生活を終えます。是非、今後はよき社会の先輩として、暖かく見守ってください。そして卒業する皆さんは、この機に是非、保護者の方々に感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉で伝えてください。卒業生の皆さんに、「ひたすら道を行き、道を楽しみ、もし困難に遭い、それを乗り越えようと思うならば、ますますその道を楽しむという心を持つがいい」という言葉を贈り式辞といたします。

令和8年2月27日

大阪府立牧野高等学校  
校長 伊藤 義孝